研究機関名：日本大学医学部附属板橋病院

臨床研究に関する情報公開

疫学研究および臨床研究に関する倫理指針に基づく情報公開について

＜インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究の実施について公開すべき事項に関する細則＞に基づいて、下記のとおり情報を公開します。

＜研究課題名＞ 腎うっ血が難治性肝性腹水症例に与える影響
＜研究期間＞ 承認日 ～ 西暦２０２０年１２月３１日
＜意義・目的＞ 腎うっ血は、腎臓に血液がうっ滞してその結果、腎障害や心機能低下が進行する状態です。最近、心不全において腎うっ血が起きるとその後の経過が悪化することがわかってきています。肝硬変での腹水でも同様の状態になっていると考えられますが、今まで腎うっ血との関係については研究がされていません。 この研究の成果として、腹水を伴う肝硬変の患者さんのより良い治療法がわかるようになることが期待されます。
＜方法＞ １９９０年１月から２０１５年５月までに、当院消化器肝臓内科及び協力施設において超音波検査を受けられた、腹水を伴う肝硬変の患者さんの血液検査（肝機能など）、画像検査（超音波、CT、MRIなど）などのデータを使用して、腎うっ血の計測法として腎静脈について調査を行います。 なお、本研究では、必要な情報のみを統計資料として集計します。患者さんのお名前や個人情報が明らかになることはありませんのでご安心ください。 ★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は，下記の＜問い合わせ窓口＞までご連絡ください。
＜問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院 東京都板橋区大谷口上町 30-1 担当：消化器肝臓内科　医員　松本 直樹 電話：０３・３９７２－８１１１　内線：８０９５